

コンピュータに関する調査報告

平成12年9月28日付(発教研セ第68号)コンピュータに関する調査より
 ※調査対象: 金沢市立小中学校 校長, 教頭, 教諭, 養護教諭

お忙しい中, 小中学校の先生方にはアンケートにご回答いただき, 誠にありがとうございます。紙面の関係上アンケート結果のすべてを掲載できませんが, 報告いたします。

教員の意識はコンピュータ操作から授業での活用へ

● 貴校の教員はコンピュータをどれくらい操作できますか。(複数回答可)

この設問に対して多かった回答が以下の2つです。コンピュータを操作できる教員が増えてきているといえます。

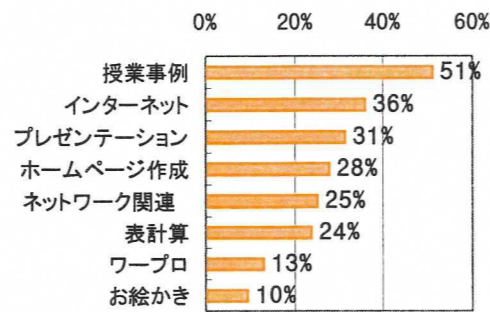
一太郎やワード等のワープロソフトで簡単な文書を作成できる。 小学校 85% 中学校 73%
 インターネットでいくつかのページを閲覧できる。 小学校 69% 中学校 47%

文部省は平成13年度末までにすべての教員がコンピュータを活用できることを目標にしています。センターとしてもこれらの結果をもとにさらに支援していきたいと思えます。

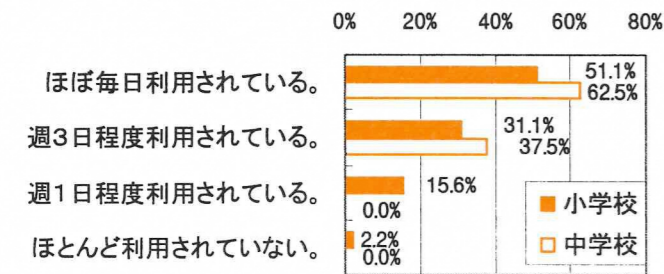
● 今後金沢市教育研究センターでどんな内容のコンピュータ関連の研修が開催されるとよいと思えますか。(複数回答可)

従来はワープロや表計算等のコンピュータ操作を望む声が多かったのですが, 「授業事例」「インターネット」「プレゼンテーション」といったコンピュータをどのように授業に活用していくかという点に教員の関心が集まっていることがわかりました。

また, 自由記述の中には「学校にいながらにして研修が受けられるように」という声も多く, 出張研修会のあり方も含め, 次年度の研修会を考えていきたいと思えます。



コンピュータ室の利用率が小中学校とも向上



● コンピュータ室の開放状況について

※小学校コンピュータ室未整備校は除く

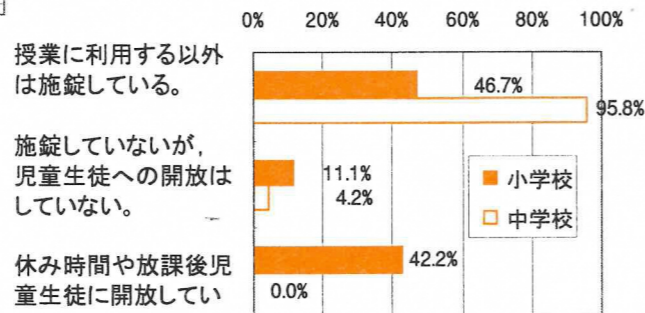
小学校では開放している学校とそうでない学校がほぼ半々です。「現在開放していないが今後そのような方向で考えていきたい」という学校もあります。いっそう児童の身近な部屋になっていくようです。

中学校で開放している学校はまだありません。しかし, 文部省は各教室や特別教室等にもコンピュータを整備する計画を発表しており, そうなりますとコンピュータは中学生にもいつでも使える道具として位置づけられていくように思われます。

(金岡)

● コンピュータ室が整備されている学校はその授業での利用状況についてお答え下さい。(1日1時限に満たない利用も含む)

※小学校コンピュータ室未整備校は除く
 コンピュータ室の利用状況は「ほぼ毎日」と「週3日程度」を合わせると小学校 82%, 中学校 100%と非常によく利用されています。



発行者
 金沢市教育研究センター
 所長 福島 茂
 〒920-0855 金沢市武蔵町14番31号
 TEL (221)7949 FAX (221)6800
<http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/ed-center/>
ed-center@city.kanazawa.ishikawa.jp

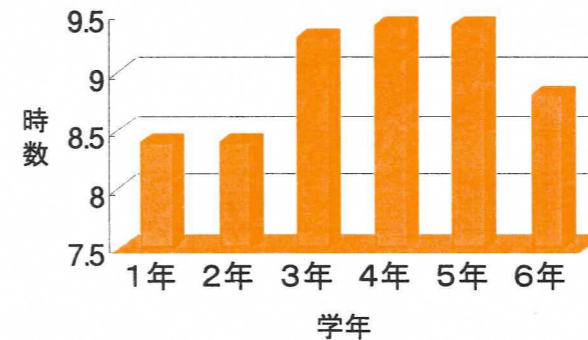


平成12年12月11日発行

英語活動・英語教育の充実・推進について

市の「金沢世界都市構想」を受けて, 将来の金沢を担う子どもを育成する教育活動を具現化するための主な施策として「国際理解教育の一環としての英語活動」を導入し, 本格実施して4年が過ぎようとしています。「異文化の理解と尊重」「コミュニケーション能力の育成」をめざし, 昨年は一学級あたり7時間の実施だったものが, 今年度の調査によると左のグラフのように, 特に3年生以上では10時間に近い実施となっています。今年度は外国人

H12小学校英語活動予定時数(平均)



との活動を望む学校の声を生かし, ALTを増員し, 小学校への派遣が可能になりました。

今後, さらに各小学校がモジュール等での英語活動も実施できるよう, 事例も紹介していきます。

また, 人的支援システム等も見直し, 改善していきますので, 13年度も充実した活動の実施をお願いいたします。

また, 国際化が急速に進む今日, 21世紀の金沢を担う子ども達の基本的・実践的なコミュニケーション能力の一層の向上を図るため, 外国語教育・英語教育のさらなる充実が必要となってきています。これまでの小学校英語活動の成果や課題をふまえ「小中一貫英語教育」を推進するためのプロジェクトを立ち上げました。

基本的な考え方として

- ・外国語や外国の文化, 外国人に対するこだわりのない開かれた態度を持つ人間の育成
- ・外国語を通して, 様々な国の人と積極的に関わり, 広い視野と見識を有する人間の育成
- ・外国語を使い, 広く国際社会で活躍することができる人間の育成

を目標とし, 小中一貫英語教育を推進するため, 各層から幅広く参考意見を伺い検討する「実施検討委員会」及び, 専門事項に関する調査・研究を行う「ワーキンググループ」を設置し, 検討を始めています。

次年度, 推進地域において中学校では教科(外国語)の時間の中で, 小学校においては1, 2年生は特別活動等の時間で10時間程度, 3年生以上は「総合的な学習の時間」等を活用して35時間程度を充てた小中一貫英語教育の研究を進める予定でいます。

本年度実施した研修会の内容と受講者の感想

これまでに行われた研修会の講座数は178講座、参加された先生方は5600名を超えました。その中から8講座をご紹介します。

初任研（金沢市新規採用職員合同研修会）

「文化施設見学研修」



<受講者より>

昔から名前を覚える時にも、自分の出身地というだけで、目が引かれたものですが、実際の所覚えただけですぐ忘れてしまい、あまり興味は抱きませんでした。ここでは一人の一生とともに功績が分かりやすく示されていて、名前の暗記ではなく一人の人間として見つめることができる良い施設だと思いました。（ふるさと偉人館にて）

専門研修 I

経験年数に応じて、その年代の先生方の幅広い見識と豊かな人間性の育成のため、必要と考える講座を開きました。同年代の教員同士が集い、講師の先生を交え、互いの考えをも聴き合えるよい機会となったようです。隔年開催の講座もありますので、次年度も計画的に受講しましょう。

教育法規の講座は年代毎に2種類開講されました。それぞれ、いじめや体罰、校内暴力等の事例や、体育の授業中や部活動、休み時間や居残り学習での事故の実例等をもとに演習形式で行われ、大好評でした。

<受講者より>

- ・様々な事例より、日頃の児童に対する安全指導に注意をすることや、もしも…のことを考えながら指導に当たる大切さを感じました。
- ・3～4人のグループでの事例討議が意見交流しやすく、その際講師先生のアドバイスもあり、有意義な時間となりました。
- ・次回の法規セミナーも出席させていただきたく思います。

地域研修「金沢の環境」

今年度から新設された地域研修は、地元金沢について見識を深め、学校教育に生かしてもらうために開講されました。この中で「金沢の環境」では、金沢の環境と環境教育について、公害問題の変遷、金沢市の環境の現状、地球環境問題、学校での環境教育の取り組みについての理解を深め、その後、実際の環境調査法について、使用する機器等の紹介や使用方法について学習しました。受講者の先生方にはとても好評な講座でした。

<受講者より>

- ・地球温暖化に対して危機意識がわいてきた。なんとか学校で生かしたい。
- ・環境調査の手法を子どもたちが2学期に使って自分たちの地域の環境について調べられたらよいと思います。
- ・環境学習として子どもに還元できればと思いました。環境保全課の方に気軽に相談できることがわかりました。具体的な測定の方法大変ためになりました。

中学校美術科研修

6月9日、鳴和中学校で中学校美術科の研修会が開催されました。本年度は教科研修に関しては中教研・小教研の協力のもと、事前の準備やPR等大変順調にすすみ当日を迎えました。講師としてお招きした上越教育大学の西野範夫教授の温厚な人柄がにじみ出た講演に19名の受講者は大変熱心に耳を傾け、先生のお帰りの間際まで質問される受講者も出たほどでした。

<受講者より>

美術教育の目的を考え直したいと思いました。自分の思考と西野先生のお考えが近いように思えて嬉しかったです。今回のような内容のある講師による研修会は大変有り難いです。ありがとうございました。

小学校実技A研修会（理科）

小学校の理科実技研修会が8月7日に、3・4年生が泉野小学校で、5・6年生が明成小でそれぞれ行われました。今年度より希望者による研修会となったため、少人数制の講座となりましたが、その分きめ細やかな内容となり、とても意義あるものとなりました。真夏にもかかわらず、加熱操作などもあり、暑さもひとしおでしたが、受講された先生方の真剣さが随所に伝わり、講師の先生にとっても充実したものになりました。

<受講者より>

- ・2学期から生かせる教材教具からたくさんヒントをもらえて参考になった。
- ・時数が少なくなっている中、移行措置は難しいです。ポイントを絞って授業をする必要性を感じて、この講座はとても参考になりました。
- ・マンツーマン的で大変わかりやすい指導内容でした。理科に自信が出てきました。
- ・今後も取り入れてほしい。専門外のものにとっては大変ありがたい研修です。

学級経営（若手研修）

10月20日、千葉大学教授の天笠茂先生をお招きして「学級経営の基礎基本」～学級崩壊を予防する～と題して講演とレポート協議をおこないました。学級をやる気にする教師、学級経営の基礎基本をおさえる、子どもたちの人間関係を育てる、子どもたちと共に総合的な学習の時間を創る、教師自らが「学ぶ人」であることなど、学級経営の基礎基本を見直す研修となりました。

<受講者より>

- ・講演はとても素晴らしかった。自分がいかにやってこなかったことに気付かされた。
- ・学級経営について整理されたお話、資料をいただくことができて、とてもよかったです。
- ・同年代が周りにいない今、このような悩みを話し合える時間は貴重です。いろいろな方の意見はとても参考になりました。

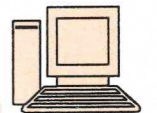
英会話

全10回の講座に約40名の先生が参加され、小グループに分かれて受講しました。活動は主にEACが企画・運営し、英語でのコミュニケーションを体感できる内容を多く盛り込みました。特にALTを交えて12グループに分かれてのサイコロトークは大変好評でした。回を重ねる毎にパワーアップする先生方の姿にEACも圧倒されていました。

<受講者より>

- ・日本語混じりでも英語で話す必要感があり、楽しかった。もう数回続けたい。
- ・インタビューや3分間スピーチ、授業に使えるようなゲームの紹介が楽しかった。
- ・英語を話すのは照れるが、ここ（講座）なら恥ずかしがらずしゃべることができる。
- ・外国の人と話すことに抵抗がなくなった。英語活動の際、EAAやALTの人にこちらから英語で話しかけたいと思う。

プレゼンテーションA, B, C



今年度新設されたプレゼンテーション研修会は、教育研究センターを会場に3回実施しました。研修内容はパワーポイントやキューブプロジェクターを使って、教材や発表会等に利用できるプレゼンテーション作成の基礎を学ぶものです。参加された受講者は最後まで熱心に取り組んでいました。

<受講者より>

- ・大変わかりやすい説明で、自信がなかったけれどとてもよく分かった。
- ・スクールフォーラム等で活用し、分かりやすいプレゼンテーションを行いたい。
- ・今後、生徒が総合的な学習等で発表するときにもこれらのソフトを活用できるよう指導していきたい。
- ・教材作成にも十分活用できそう。例えばクイズ形式にして、答えがアニメーションで出てくるようにするなどすれば楽しく活用できそうである。